# 愛媛県立中央病院　外科専門研修プログラム

年次毎の専門研修計画

・専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。

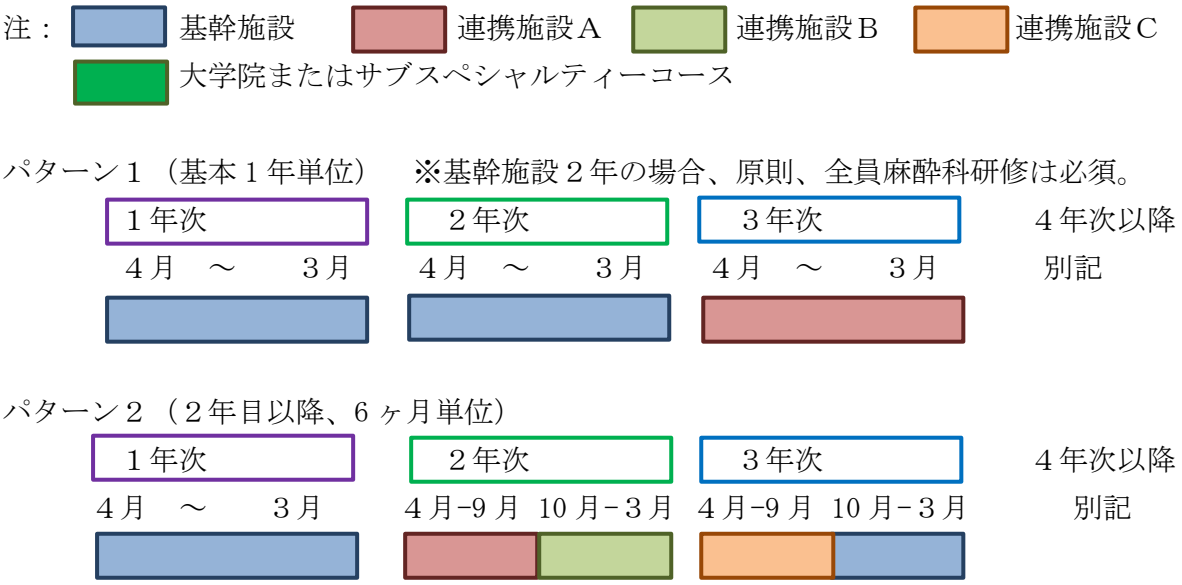
・専門研修１年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。学会研究会活動も、地方（全国）会を中心に症例報告などを発表できるよう指導します。

・専門研修２年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会（特に全国クラス）への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。また、主要学会誌への投稿を指導します。

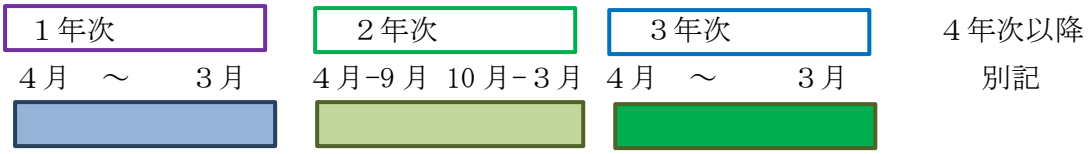
・専門研修３年目では、チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャルティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。また、機会があれば国際学会などへの参加を目指し、さらなる関連学会誌への誌上報告を指導します。

（具体例）

下図に愛媛県立中央病院外科研修プログラムの１例を示します。



パターン３（大学院またはスペシャルティーコース）




本プログラムは、原則、スタート１年間は基幹施設で開始します。２年目以降は、それまでの実績、本人の力量や希望を考慮し、研修管理委員会とも相談の上、上記（例）のパターンを参考に、個別のプログラムを決定します。各施設は、原則全て異なる医療圏に存在します。（詳細、別記）